

令和3年度 国分寺市障害者基幹相談支援センター事業報告

1 事業全体を振り返って

①事業運営

令和3年度、基幹相談支援センターでは、感染対策に関する情報収集を行い、できることは取り入れながら事業計画に掲げた予定を中止することなく、実施することができた。令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を講じての事業運営となった会議や研修の開催は、主催者に委ねられているところがあり、開催方法も会場も状況に合わせて変化していった。

基幹の業務において、人と人とのつながりを大切にしてきたが、コロナ禍においてそれができない状況が生まれたことから、情報発信が地域ネットワークを作る重要な要素となった。情報を発信しやすくするために基幹のウェブサイトを法人とは別に作成すること等、市と協議しながら進め、令和4年度より取り組んでいく。

②利用者支援

利用者宅の訪問や面談も必要に応じて行った。その際は、東京都のガイドラインに則り感染対策と、換気、短時間での実施を心がけ、利用者や職員の健康を守る対策を講じた。

③OJTの実施状況

オンライン会議のマニュアルが、少しずつ積み重ねられる等、職員の得意とするところで力を発揮してもらうことをベースに、他の職員の知識や技術も底上げし、ある程度は誰でも対応できるように努めてきた。

また、各方面でオンライン研修が増え、職員研修として利用がしやすくなった。研修への参加の目標回数を、一職員当たり年間6回以上としていたが、全職員それ以上の研修に参加し、学びの多い1年となった。

2 事業計画の個別事業の進捗状況と課題

個別事業名	目標に対する到達状況	課題
1. 相談支援事業所の訪問	<ul style="list-style-type: none">・1/4期内に、全事業所（9事業所）との面談を状況に合わせて、訪問・来所・オンライン等で行った。・質問票を事前に送り、効率的に聞き取りができるようにし、市とも共有した。・聞き取った内容から、研修や事例勉強会のテーマ、協議会での地域課題の検討、個別のコンサルテーションに結び付けた。・市から、相談支援従事者初任者研修及び現任者研修の受講者に対し、相談支援体制の説明や相談支援専門員自身の更なる気づきを得るため	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度は、実態に合わせて事業名を「相談支援事業所等との面談」に変更する。・事業所が3事業所増えることもあり、効率化を考え、基本1事業所1回で面談を実施する。・相談支援従事者研修の実習を業務に組み込む。

	の助言について要請があり、対応した。	
2. コンサルテーションの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・予定通り9回（相談支援事業所4事業所）のコンサルテーションを実施した。 ・講師として、公認心理師・サービス事業所施設長・精神科医等の専門家を招いた。 ・市との協議の上、現場の支援者が行き詰まり相談支援専門員に相談があるケースや今後福祉サービスにつながる可能性のあるケースも対象とし、グループホーム、地域活動支援センターが中心のコンサルテーションを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の相談支援事業所にコンサルテーションの利用について丁寧に説明する。 ・市民の利用者だが、他市の相談支援専門員が行き詰っているケースや、市内の相談支援専門員が他市のケースで困っている場合についてもコンサルの希望があがっている。
3. 相談支援専門員研修の企画・運営 新任研修1回/年 ブラッシュアップ研修1回/年 勉強会2回/年	<ul style="list-style-type: none"> ・新任研修1回、ブラッシュアップ研修3回、事例勉強会2回を行った。 ・その他、高校2年生を対象とした相談支援事業所の移行が必要な利用者の引継ぎに向けた事例検討会を2回（6ケース）開催した。今後も、相談支援事業所の移行が必要なケースは、相談支援事業所連絡会の中で検討し、令和4年度は、高校2年生から対象年齢を下げて、本人や家族にとって一番合った時期に移行を進めることになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、新規事業所が3ヶ所増える予定である。 ・新任研修、ブラッシュアップ研修、事例勉強会、事例検討会は、相談支援事業所連絡会とあわせて行い、相談支援専門員が日程調整しやすい配慮をする。 ・研修のテーマは、年度初めに年間を通して決める。
4. 支援者向け虐待防止研修の企画・運営	<ul style="list-style-type: none"> ・会場とオンラインのハイブリットで予定通りに開催した。毎年、同時期に開催することで、事業所の虐待防止研修として定期的に活用されるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も毎年12月に開催していく。開催方法は、事業所の職員研修として活用しやすいハイブリットで実施する。
5. ネットワーク研修の企画・運営 スキルアップ研修 I・II・III	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク研修Ⅰ（地域移行）は、YouTubeでオンデマンド配信、ネットワーク研修Ⅱ（高齢福祉－障害福祉の連携）は、会場とオンラインのハイブリット、ネットワーク研修Ⅲ（障害児）は、オンラインで予定通り開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔を合わせるという研修の目的の1つが、コロナ禍のため達成が難しくなっている。コロナ第7波、第8波を想定し、研修内容に合わせた開催方法を柔軟に企画していく。
6. 自立支援協議会 マネジメント 業務	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会3回、相談支援部会3回・相談支援部会主催研修1回、就労支援部会3回・精神保健福祉部会4回、相談支援事業所連絡会12回・障害児通所支援事業所連絡会2回、地域移行支援ワーキング・グループ11回に事務局として運営に携わった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に合わせて、会場とオンラインを使い分けて開催する。
7. 市との定例協議 その他連絡会等	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回定例協議を開催した。その他、計画相談、災害対策研修等については、機会を別に設けて検討した。 ・国分寺市地域福祉活動計画策定委員会、国分寺障害者施設担当者意見交換会、医療的ケア児 	<ul style="list-style-type: none"> ・国分寺市地域福祉活動計画策定委員会、国分寺障害者施設担当者意見交換会、医療的ケア児支援関係者会議等、引き続き状況に合わせた参加方

	支援関係者会議は、オンラインで参加した。	法で出席していく。
8. 緊急度の高い ケースの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員の訪問に市と基幹で同行し、緊急入所保護事業の説明を行い、把握した情報は市と共有した。(4件/年) ・緊急携帯は、センター長、主任、職員1名で持ち夜間、休日に対応した。 ・国分寺市内の障害者団体と相談支援部会の代表として相談支援部長と基幹が、各々の考える緊急時について意見を聴く機会を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急入所保護事業にはなじまない精神障害のある方の緊急時対応について、相談支援事業所連絡会で検討が始まり、今後、相談支援部会だけでなく精神保健福祉部会等でも引き続き検討していく。

●職員育成

	概況と到達	課題
1. 専門性の獲得 とネットワー ク作り	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は、オンラインで参加できるようになったことが後押しとなり、一人当たり6回以上の目標を大きく上回り達成した。 ・職員が参加した研修がきっかけとなり、自立支援協議会相談支援部会主催の災害対策研修の講師を依頼することができた。 ・地域のネットワークづくりに関して、人とのつながりに力を入れてきたが、情報発信にも大きな役割があることが見えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修報告を書面と会議等での報告で情報共有しているが、情報を求めている人にも提供できる形を検討する。 ・基幹の業務は、情報が命であることから、データ保存や発信の仕方について環境整備を進め、業務効率とセキュリティの向上を目指す。
2. 業務の質の 変化と効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であっても仕様書通り事業を進めるために、オンラインでの会議や研修を取り入れた。これまでと業務の質や量が変化し、対応していくためには、業務の効率化も検討が必要となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでやってきた業務内容ややり方を整理し、効率化を図るとともにICT化も進めていく。
3. ヒヤリハットの 提出	<ul style="list-style-type: none"> ・30件/月以上の目標を達成した。職員の提案により、ヒヤリの発生後は、改善策を必ず考え、実施した。 ・行動指針に当てはまらない事態が発生することもあり、事例を基幹に集積した。今年度の初旬に部門会議で行動指針の加筆、修正を提案し、改訂版を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動指針にない事例が発生した時は、引き続きメモを残しておき、部門会議で行動指針の加筆、修正を提案する。
4. 基幹10周年	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹イメージキャラクターをデザインし、ウェブサイト等を利用し、日本全国から愛称を募集した。申込者数523件、応募総数1,002点が寄せられ、「とわぶる」と決まった。 ・この間の万葉の里のウェブサイト訪問数は、前年比108%増(3,449→7,176件)、ページ閲覧数は、前年比82%増(9,516→17,332件)となった。基幹の閲覧数だけでなく法人全体の閲覧数を底上げした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹独自のウェブサイトを立ち上げ、法人のウェブサイトとリンクする。 ・基幹周知のためのイメージキャラクターの展開を検討し、試行する。

5. 実践研究事業	・平成28年度より毎年取り組んできたが、令和3年度は、「基幹設置10周年」周知のための取組を行うため、実践研究は次年度に参加することにした。	・令和4年度は、10周年史を発行する。 ・基幹の周年事業の検証を実践報告とする。
--------------	--	---

3 活動実績

令和3年度 相談業務実績（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

相談支援件数	3,942件	相談業務内容件数	4,778件
--------	--------	----------	--------

【個別ケースに関わる相談業務】

①支援方法別件数

	訪問	来所相談	同行	電話等 相談	電子 メール	個別支援 会議	その他	計
件数	161	153	2	1,199	119	27	0	1,661

②業務内容分類

	総合相談 専門相談	ネットワー ク研修等	地域移行 地域定着	虐待防止 権利擁護	計
件数	1,562	77	17	5	1,661

③支援内容の内訳

	福祉サービスの利用等に関する 支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する 支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	虐待防止に関する支援	地域移行・地域定着に関する支援	その他	計
件数	1,444	114	321	109	23	247	53	36	26	2	22	25	50	1	2,473

【地域のネットワーク体制の構築及び研修等に関わる業務】

①支援方法別件数

	訪問	来所相談	電話等 相談	電子メール	その他	計
件数	151	149	978	988	15	2,281

②業務内容分類

	総合相談 専門相談	ネットワーク 研修等	地域移行 地域定着	虐待防止 権利擁護	計
件数	123	2, 125	33	0	2, 281

③支援内容の内訳

	福祉サービスの利用等に関する 支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	虐待防止に関する支援	地域移行・地域定着に関する支援	その他	計
件数	1, 903	8	6	22	2	1	0	0	8	0	6	0	34	315	2, 305

④月別対応件数

	個別相談件数	対応ケース数	その内の 新規ケース数	個別相談以外
4月	132	32	14	232
5月	133	38	15	200
6月	154	48	14	225
7月	122	28	5	131
8月	120	32	8	161
9月	101	34	10	166
10月	198	54	23	204
11月	168	46	8	173
12月	143	36	11	136
1月	125	30	8	200
2月	109	27	8	174
3月	156	43	18	279
合計	1, 661	199	142	2, 281

⑤地域の相談支援事業者の研修等

日付	テーマ及び内容	対象	備考
----	---------	----	----

6 月 18 日	【新任研修】 「令和3年度報酬改定に伴う計画相談に関わる加算及び支給決定基準について」 講師：千田 孝一 氏 （国分寺市福祉部 障害福祉課 事業推進係 係長） 市村 智美 氏 （国分寺市福祉部 障害福祉課 事業推進係 主任）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 	参加者：12名
6 月 21 日 6 月 28 日	【ネットワーク研修Ⅰ（地域移行）】 「地域移行支援 in 国分寺」 ～地域移行支援ワーキンググループ活動開始報告～ ①東京都精神障害者地域移行体制整備支援事業から考える現状と課題 講師：津川 孝治 氏 （東京都立多摩総合精神保健福祉センター 広報援助課 地域体制整備担当） ②東京都地域移行体制整備支援事業から見た国分寺市の退院促進について 講師：毛塚 和英 氏 （地域生活支援センタープラッツ 東京都地域移行コーディネーター） ③国分寺市障害者地域自立支援協議会 精神保健福祉部会からの報告 報告者：伊澤 雄一 氏 （国分寺市障害者地域自立支援協議会 精神保健福祉部会長 / 社会福祉法人はらからの家福祉会 総合施設長）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 ・地域活動支援センター ・通所支援事業所 ・グループホーム ・地域包括支援センター ・行政 ・精神科病院 ・精神科クリニック ・訪問看護ステーション 	オンデマンド研修 申込人数：125名 （市内事業者：63名 市外事業者：61名） 再生回数：173回
7 月 15 日	【ブラッシュアップ研修】 「消費生活相談について」 講師：柳澤 優次 氏 （国分寺市市民生活部 経済課 消費生活・就労支援担当 係長） 長澤 いつわ 氏 （国分寺市市民生活部 経済課 消費生活相談室 消費生活相談員）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 ・地域活動支援センター 	オンライン研修 参加者：17名
8 月 19 日	【事例勉強会】 「精神障害のある母と発達障害の疑いのある子の母子世帯への支援」 講師：西隈 亜紀 氏 （特定非営利活動法人東京フレンズ グループホーム キキ 施設長）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 ・地域活動支援センター 	参加者：17名
9 月 16 日	【事例検討会】 「児童（学齢期）から成人（青年期・壮年期）へ」 ～ライフステージを通じた支援の仕組みづくり～	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 	参加者：13名
10 月 20 日	【ネットワーク研修Ⅱ（障害福祉-高齢福祉）】 「世帯を支える支援体制とは」 ～高齢の親の権利と障害のある子の権利～ 講師：足立 剛 氏（武蔵国分寺法律事務所 弁護士）	<ul style="list-style-type: none"> ・市内相談支援事業所 ・地域包括支援センター ・社会福祉協議会等 ・行政機関 	オンライン研修 参加者：25名 （オンライン：19名 会場参加：6名）
10 月 22 日	【事例検討会】 「児童（学齢期）から成人（青年期・壮年期）へ」 ～ライフステージを通じた支援の仕組みづくり～	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 	参加者：12名

12月1日	【支援者向け虐待防止研修】 「これって虐待？」 ～重度障害者への意思決定支援～ 講師：芹澤 正博 氏（社会福祉法人あだちの里 希望の苑 副施設長）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 ・障害福祉サービス通所支援事業所 ・障害児通所支援事業所 ・共同生活援助事業所 ・居宅介護事業所 ・短期入所事業所 ・保育，教育関係所 ・行政機関 ・その他福祉関係者 等 	オンライン研修 参加者：90名 （オンライン：67名 会場参加：23名）
12月16日	【ブラッシュアップ研修】 「高齢者向けの住まいと種類と選び方」 講師：下田 麻由子 氏 （株式会社 介護施設研究所 所長）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 ・地域活動支援センター 	参加者：10名
1月21日	【事例勉強会】 「地域で生活している精神障害のある方における課題整理」 講師：小野 加津子 氏 （株式会社円グループ 訪問看護ステーション音 所長）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 ・地域活動支援センター 	参加者：11名
2月22日	【ネットワーク研修Ⅲ（児童）】 「性教育と性支援」 ～子どもに教えるために， まず支援者が知っておくこと～ 講師：笹渕 真子 氏（東京都立府中けやきの森学園 養護教諭）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 ・地域活動支援センター ・児童発達支援事業所 ・放課後等デイサービス事業所 ・学校及び教育関係者 ・保育園，幼稚園，学童 ・障害福祉サービス通所支援事業所 ・共同生活援助事業所 ・短期入所事業所 ・行政機関 	オンライン研修 参加者：47名 （オンライン：45名 会場参加：2名）
3月17日	【ブラッシュアップ研修】 「対人援助職が知っておくと役に立つ神経生理学の基礎」 講師：角田 みすゞ 氏（ベル相談室 公認心理師 /臨床心理士）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所 ・地域活動支援センター 	オンライン研修 参加者：13名

⑥権利擁護関係連絡会等への出席

月	日	研修名	主催	参加者
6	21	権利擁護関係機関連絡会	権利擁護センターこくぶんじ	中川
7	29	虐待防止研修（基礎編） 高齢者・障害者虐待の基礎的な概念理解	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	大浦
8	4	権利擁護関係機関連絡会	権利擁護センターこくぶんじ	中川
9	3	長期入院者の人権を考える～精神科病院の現状と弁護士の役割～	東京弁護士会	中川
9	4	つばさ市民福祉講座 わかりやすい！障害年金入門～障害年金の基本をおさえよう～	地域活動支援センターつばさ	銀川・藤木・益留・大浦
10	22	虐待防止研修	社会福祉法人万葉の里	銀川・藤木・益留・中川・大浦
10	27	e-ラーニング実践ゼミナール虐待防止	e-ラーニング	銀川・藤木・益留

11	13	多様なケアの担い手の存在を知ろう～ケアの価値を認め合う社会へ	地域活動支援センターつばさ	銀川・藤木
11	26	権利擁護の視点から考える高齢虐待～支援者として求められる役割と理解しておくべきポイント～	国分寺市高齢福祉課	益留・大浦
12	9	虐待防止研修（応用編）	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	大浦
2	8	権利擁護関係者連絡会 苦情対応研修	権利擁護センターこくぶんじ	銀川